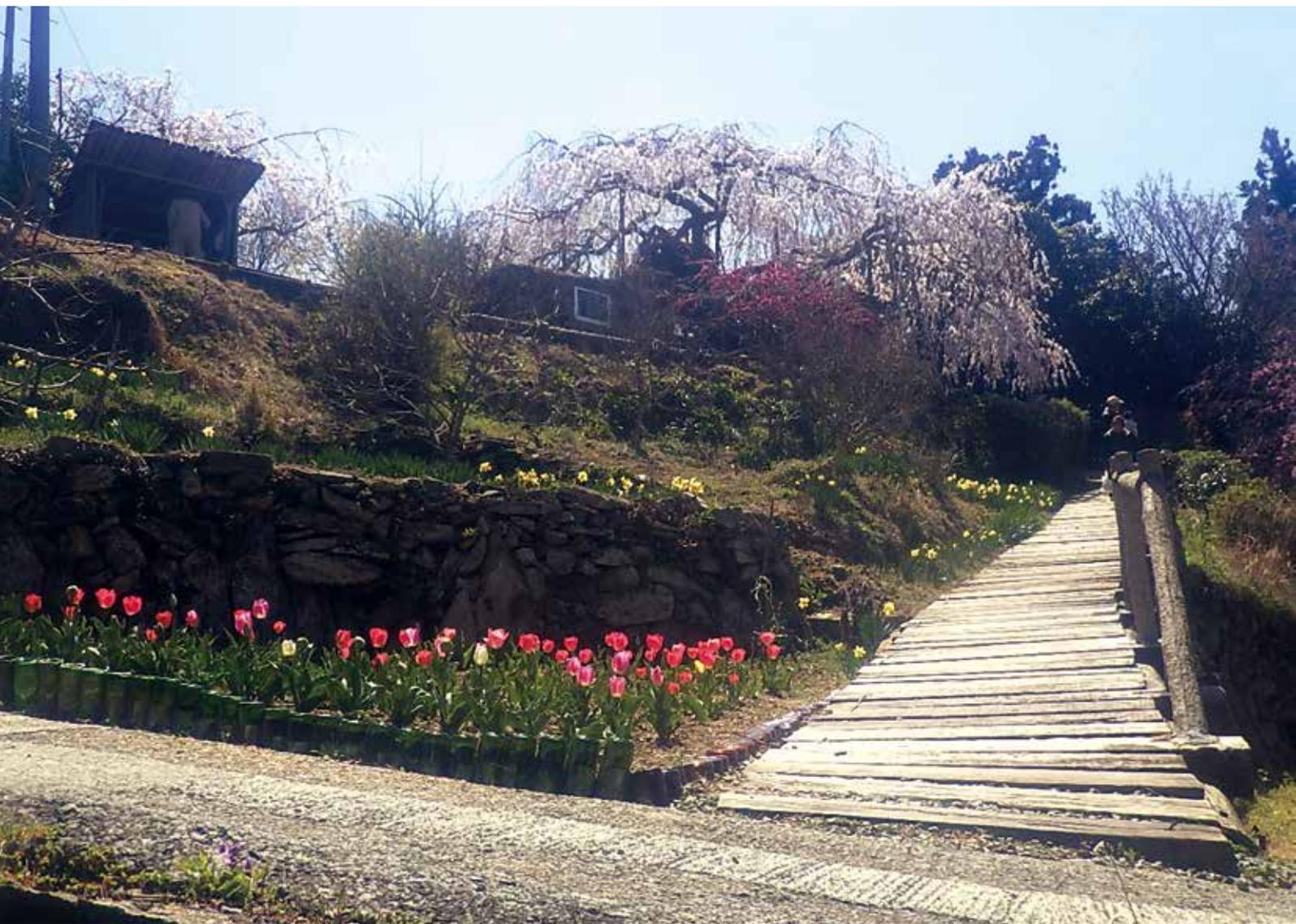


議会だより

うちこ



- ◎ 3月定例会概要・・・2～5
- ◎ 常任委員会・・・6～8
- ◎ 一般質問(6名)・・・9～15
- ◎ 新有権者の声
傍聴席からひと言・・・17

vol.29

令和元年5月発行

3月定例会

第101回定例会が、3月5日～18日の14日間の会期で開会されました。

5日：町長招集挨拶及び施政方針

一般質問（6議員）

議会広報常任委員会

6日：議案提案（報告1件、条例改正7件、

指定管理2件、補正予算8件、

当初予算8件）

7日：総務文教常任委員会

産業建設厚生常任委員会

8、11、12日：予算決算常任委員会

18日：各委員長から審査報告

議案提案（教育長任命案件1件）

26議案を原案どおり可決

傍聴者は23名でした。

平成30年度補正予算内容

一般会計補正予算 8億2290万円減額

累計108億1415万3千円

特別会計補正予算 8017万1千円減額

累計50億8012万1千円

【特別会計】

国民健康保険事業	1億1441万1千円減	介護保険サービス事業	5万1千円増
後期高齢者医療保険事業	1300万円減	小田高校寄宿舎	279万2千円減
介護保険事業	4998万1千円増		

主な一般会計補正予算内容

○久万高原町環境衛生センター撤去に伴う負担金	146万円減
○大洲地区広域消防事務組合負担金	1245万円減
○内子給食センター進入口復旧工事	702万円増
○農業施設災害復旧工事	2億4294万円減
○林業施設災害復旧工事	2442万円減
○公共土木災害復旧委託	654万円減

内子町議会

◆全会一致で可決、同意、承認した議案

- ◎専決処分報告(第58号) 地域連携販売力強化施設直売所棟建築主体工事に係る工事変更(請負)
- ◎内子町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- ◎内子町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について
- ◎内子町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について
- ◎内子町職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例について
- ◎内子町改良住宅等管理条例の一部を改正する条例について
- ◎内子町小田深山観光施設条例の一部を改正する条例について
- ◎内子フレッシュパークからり条例の一部を改正する条例について
- ◎内子町清正ひろばの指定管理者の指定について

◎一般会計補正予算(第6号)

- ◎国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
- ◎後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ◎介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
- ◎介護保険サービス事業特別会計補正予算(第2号)
- ◎小田高校寄宿舎特別会計補正予算(第1号)
- ◎水道事業会計補正予算(第2号)
- ◎下水道事業会計補正予算(第2号)

【平成31年度】

- ◎後期高齢者医療保険事業特別会計予算
- ◎介護保険事業特別会計予算
- ◎介護保険サービス事業特別会計予算
- ◎小田高校寄宿舎特別会計予算
- ◎水道事業会計予算
- ◎下水道事業会計予算

◆賛否の分かれた議案

議案名	大西啓介	関根律之	向井一富	久保美博	森永和夫	菊地幸雄	泉浩壽	大木雄	山本徹	才野俊夫	下野安彦	林博	山崎正史	寺岡保	中田厚寛	議決結果
内子町伝統工芸等振興拠点施設の指定管理者の指定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成31年度内子町一般会計予算について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成31年度内子町国民健康保険事業特別会計予算について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
「後期高齢者の窓口負担の見直し」にあたり、原則1割負担の継続を求める意見書の提出を求める請願	産業建設厚生常任委員会付託															継続審査

○：賛成 ×：反対

※山本議長は本会議の採決には加わらない。

平成31年度当初予算

《 選択と集中で健全財政を 》

一般会計 87億5850万円 (前年度比0.02%増)

歳入



●歳入の語句説明

町税	町民が納める税金(町民税、固定資産税、軽自動車税等)
繰入金	町の貯金を下ろして使うお金 他会計や基金から取り入れる資金
地方交付税	自治体運営の均衡を保つため、国税(所得税、法人税、酒税等)の一部から配分されるお金
国・県支出金	決まった目的に使うため、その費用の全部又は一部が国や県から交付されるお金
町債	町が事業を行うために借り入れるお金
自主財源	町が自前で賄うことが出来るお金
依存財源	地方交付税や町の借入金、国・県の補助金等に頼るお金

歳出



●歳出の語句説明

総務費	人事、企画、財政、戸籍、統計や交通安全など、他部門に分類されない事業に要する経費
民生費	障がい者福祉、児童福祉、高齢者福祉、国民年金などの事業に要する経費で国民健康保険事業、後期高齢者医療保険事業、介護保険事業などの特別会計への支出も含まれる
衛生費	母子保健、廃棄物処理、公害対策などの事業に要する経費で水道事業企業会計への支出も含まれる
農林水産業費	農業、林業、水産業振興の事業に要する経費
土木費	道路、公園、区画整理などの事業に要する経費で下水道事業企業会計への支出も含まれる
教育費	学校教育、生涯学習、スポーツ振興などの事業に要する経費
公債費	町債(町の借金)を返済する元利償還金(元金と利子)と一時的な借入をした場合の支払い利息

当初予算の主な事業 主な一般会計当初予算内容

新深山荘建設にかかる経費

実施設計委託料	3372万6千円
外構設計委託料	404万円
用地購入(旧J A跡地)	67万5千円



基本計画における新深山荘建物イメージ

自治会館建設にかかる経費

五十崎中央自治会館建設工事監理委託料	227万7千円
五十崎中央自治会館建設工事	8077万3千円

鳥獣対策にかかる経費

有害鳥獣捕獲奨励金交付事業	1314万5千円
有害鳥獣侵入防止施設整備事業補助	600万円

災害復旧にかかる経費

過年発生補助農業施設災害復旧費	5396万6千円
過年発生補助林業施設災害復旧費	4302万9千円
過年発生補助公共土木施設災害復旧費	1億7398万2千円

平成31年度 特別会計・公営企業会計当初予算

特別会計区分	平成31年度	平成30年度	比較
国民健康保険事業	20億9226万2千円	21億8360万円	△4.2%
後期高齢者医療保険事業	2億3076万7千円	2億4660万円	△6.4%
介護保険事業	25億7700万円	25億5270万円	1.0%
介護サービス事業	1875万5千円	1799万6千円	4.2%
小田高校寄宿舎	1322万4千円	1305万1千円	1.3%
合計	49億3200万8千円	50億1394万7千円	△1.6%

水道事業会計		平成31年度	平成30年度	比較
収益的支出	収入	4億6467万9千円	4億4812万6千円	3.7%
	支出	4億2967万4千円	4億2972万4千円	△0.0%
資本的支出	収入	3億5258万5千円	3億703万1千円	14.8%
	支出	5億6263万6千円	4億6655万9千円	20.6%

下水道事業会計		平成31年度	平成30年度	比較
収益的支出	収入	3億371万3千円	2億8598万円	6.2%
	支出	3億371万3千円	2億8598万円	6.2%
資本的支出	収入	7959万9千円	8092万8千円	△1.6%
	支出	1億4007万9千円	1億4128万8千円	△0.9%

【予算決算常任委員会】

補正予算

3月6日の本会議において、付託された議案

◎平成30年度

- 一般会計補正予算
- 特別会計補正予算5件
- 企業会計補正予算2件

《主な質疑内容》

【総務費】

問 マイナンバーカードの普及が進まないのは、住民が必要を感じないからで、町として何か対策を考えているのか。

答 マイナンバーカードで住民票や印鑑証明が取れるシステムを構築するには膨大な費用がかかり、投資対効果が得られにくい現実がある。

【商工費】

問 商店街空き店舗等改修支援事業補助の減額の理由は。

答 3件の予定であったが、1件のみの実績となった。2件については継続して話を進めている。

【土木費】

問 町道除草等補助金について、総額が決まっており単価調整するようになっていたと思うが、変更があったのか。

答 頭打ち予算で補助をしていたが、今後は地元にも迷惑をかけないよう確保する方法で実施していきたい。

【教育費】

問 内子学校給食センター進入路において空洞化による進入口復旧工事は、7月豪雨災害の査定の対象にはならないのか。

答 建設デザイン課や県と協議をしたが、対象にならないかった。



給食センター進入路被災状況

◎採決の結果、原案のとおり可決

当初予算

3月6日の本会議において、付託された議案

◎平成31年度

- 一般会計当初予算
- 特別会計当初予算5件
- 企業会計当初予算2件

【主な質疑内容】

《総務費》

問 第2期総合計画後期計画については、現在の総合計画の検証がまず大事だと考えるが。

答 検証には着手している。住民アンケート実施や専門家のアドバイスを求めながら策定していきたい。

問 AEDの整備はどのように進めているのか。

答 学校を中心に整備を進めているが、自治会館などの整備は個別の状態であり、避難所としての役割もあるので今後の課題としていきたい。

AED (自動体外式除細動器)



《民生費》

問 一時保育を中断するが、ニーズはないのか。

答 ニーズはある。

《衛生費》

問 林道を走っていたら不法投棄を目にするが、どのような処理をしているのか。

答 道路に捨ててある場合は町で対応するが、民地の場合、有害なバッテリーなど緊急性を要するもの以外は、所有者の責任となる。

問 藤華苑について、通夜もできるようにしてもらいたいという要望があるが。

答 施設の改修等の必要性も出てくるので、近隣自治体も参考にしながら検討したい。



藤華苑

常任委員会

《農林水産業費》

問 豊島区交流事業のプログラミング事業とはどういうものか。

答 山林のない豊島区に、林業を題材としたプログラミング教室を開催することによって内子町に関心を持ってもらい、町のPRや交流につなげていきたい。



内子産木材にふれながら学ぶ
プログラミング教室

《商工費》

問 観光協会育成補助金における人的態勢支援とは。

答 事務局長や事務職員の人件費を含むものであるが、協会の一般財団法人化や事業活性化のための育成目的であるところを認めていきたい。

問 地域再生計画のための大洲市等連絡協議会とはどういうものか。

答 地方創生推進交付金を活用して、大洲市と一緒に伝統的な町屋、古民家の改修やリノベーションをすることにより観光振興を図っていくためのものである。

問 新深山荘建設における農林漁村振興交付金の交付申請時には、事業費2億円で申請しているものが、現在なぜ概算で倍の金額になっているのか。

答 申請には建築単価の上限が決まっていることや、建設費が上昇していることにより概算で4億円になっているが、内容は大きく変わっていない。

《土木費》

問 町道など図面に載っていない道路が多くあるが、対応はできないのか。

答 合併前の町道などは、登記ができていないものがありある。費用の問題はあるが、今後はなるべく登記していく方向で検討していきたい。

《教育費》

問 小田高校はこのままでは分校化の恐れがある。存続に向けて県教育委員会と協議しながら他ではやっていけないような取り組みをしてほしい。

答 地元とも協議を重ね、取り組んでいきたい。

問 天神小学校は五十崎児童館より離れているため、利用しにくいとの声がある。子ども放課後教室のニーズ調査はしているのか。

答 天神小学校からの要望は数名と聞いている。

◎下水道事業会計予算

問 接続戸数が減った理由と有収水量が増えている理由は。

答 上・下水道とも転出や家の取り壊しなどにより接続戸数が減ってきている。有収水量の増加は1戸当たりの上水道使用量が増えているためである。

◎採決の結果、原案のとおり可決



小田高校寮寄宿舍「小田寮」

◎小田高校寄宿舍特別会計予算

問 寮生給食費については、食料の値上げや消費税の引き上げなども含めて検討したのか。

答 単価については料飲組合小田支部と協議した。

答 2年前から、瓦葺き以外の住宅についても補助対象となるよう変更したが、今後も町内建築業者と協議しながら、利用を推進していきたい。

【総務文教常任委員会】

3月6日の本会議において、付託された議案

◎議案第2号 内子町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

◎議案第3号 内子町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について

◎議案第4号 内子町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

◎議案第5号 内子町職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例について

《主な質疑内容》

※議案第2号、議案第3号、議案第4号の3議案は、平成30年8月10日付け人事院勧告に伴い、条例の一部を改正するものです。

問 夏と冬のボーナスが平準化された理由は。

答 民間の支給状況の調査結果を反映したものである。

問 内子町のラスパイレース指数は。

答 平成30年度で91・0である。

※議案第5号は、「専門職大学」及び「専門職短期大学」が大学制度の中に位置づけられ、それに対応するため、学校教育法の一部を改正する法律の施行に伴い、条例の一部を改正するものです。

問 内子町では休暇取得の実績が無いというのだが、職員の権利として認められているのに、任命権者が承認することになっていないのはいかがなものか。

答 公務の運営に支障のない場合について承認することとなっている。

◎以上4議案とも、採決の結果、全員一致で原案のとおり可決

注1 「ラスパイレース指数」とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す数値です。

【産業建設厚生常任委員会】

3月6日の本会議において、付託された議案

◎議案第6号 内子町改良住宅等管理条例の一部を改正する条例について

◎議案第7号 内子町小田深山観光施設条例の一部を改正する条例について

◎議案第8号 内子フレッシュパークからり条例の一部を改正する条例について

◎議案第9号 内子町伝統工芸等振興拠点施設の指定管理者の指定について

◎議案第10号 内子町清正ひろばの指定管理者の指定について

《主な質疑内容》

問 町営住宅への入居募集の方法と入居者に関して地元優遇などの措置はないのか。

答 広報やホームページを通して募集を行っている。災害などの特別な事情がない限り、抽選により入居者を決定している。

※議案第6号、第8号及び第10号の4議案は、採決の結果、全員一致で原案のとおり可決

問 内子手しごとの会の経営状況は。

答 安定した経営を続けている。

問 内子手しごとの会の活動拠点はどの場所がメインなのか。

答 イベントやデパートの催事などで出向くことはあるが、内子町伝統工芸等振興拠点施設が活動の中心である。

※討論

《反対討論》

公の施設の指定管理であるため、もっと町民の利用を促進することについて努力すべきであるとの立場から反対である。

《賛成討論》

内子手しごとの会は指定管理者として適正に運営しており、公募された結果、指定管理者に選定されている経緯もあるので、賛成である。

◎議案第9号は、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決

一般質問

下野 安彦 議員… 10ページ

- ・小田川堆積土砂掘削と低水護岸覆土
- ・児童虐待、DVの早期発見・早期対応の取組状況

森永 和夫 議員… 11ページ

- ・幼児教育無償化
- ・小田地区の振興
- ・児童生徒のSNS利用

向井 一富 議員… 12ページ

- ・相談、通報時のSNS活用
- ・犬猫殺処分ゼロ運動
- ・高齢者対策
- ・風疹ワクチン接種
- ・新規就農者助成制度

大西 啓介 議員… 13ページ

- ・稲本町政10年の自己評価、選挙公約
- ・海外への観光情報発信、経済的交流
- ・移住促進事業

寺岡 保 議員… 14ページ

- ・皇位継承に伴う10連休
- ・歴史民俗資料館

関根 律之 議員… 15ページ

- ・指定管理者制度
- ・エネルギー自給
- ・自衛隊員募集の協力要請

町政を問う！



下野 安彦議員

【小田川の堆積土砂掘削と低水護岸の覆土について】

問 下宿間、御祓川合流点から龍宮堰までの河床掘削や五十崎側低水護岸の覆土が流されているが、今後の改修の見通しは。

建設デザイン課長

宿間の瑞穂橋周辺で災害復旧事業により河床掘削を実施する。上流についても、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」として、国の2次補正予算から河積の阻害となる樹木の伐採や河床掘削を順次実施していく予定。
豊秋橋から上流右岸の鎧護岸が露出している部分については、県と協議しながら、対応策を検討していく。



浸食が進む親水ゾーンの早期対策を！

問 伊予銀行前の護岸の親水ゾーン部分には2m程の段差ができ、5月の凧合戦にも影響が出るが対策は間に合うのか。

建設デザイン課長

県の方で協議をしているところであるが、今年の凧合戦には間に合わないと思われる。

問 今のままでは親水ゾーンとしての機能が果たせなくなり、伝統的な事業が継続できないが、町長として再度県に要請する考えは。

町長

このままでは凧合戦ができないという話は県に言っている。再度、県に要請していく。

【児童虐待やDVの早期発見・早期対応への取り組みについて】



問 児童虐待防止やDV問題について、内子町での現状や実態把握、各機関との連携は。

保健福祉課長

幼児虐待に関しては、民生児童委員、学校、保育園、保健センター、近隣住民からの情報提供、DVでは主に当事者からの申し出を受け、それぞれ実態を調査している。必要に応じて大洲警察署や、法務局、保健所、児童相談所、民生児童委員協議会、人権擁護委員、教育委員、それぞれで構成される、「要保護児童対策及びDV防止対策地域協議会」の組織により、実務者会議や個別のケース会議にて、適切な援助の方法について協議し、具体的な対応を行っている。

問 虐待とかDVの法的な基準はあるか。

保健福祉課長

虐待については、保健福祉課、児童相談所で虐待が疑われる案件についてのフローチャートを作っている。命に危害を加える恐れがあるのかどうか、フローチャートをチェックすることで統一した見解の中で対応ができるようにしている。

問 一般の住民が虐待やDVだとわかる基準が掲載されたリーフレットとかポスター製作の考えはないか。

保健福祉課長

ポスター、リーフレット等の製作は今後検討をするが、DVや虐待が心配される場合には、遠慮なく保健福祉課に通告してほしい。





森永 和夫議員

【幼児教育無償化について】

問 新たな利用希望や長時間保育が増え、待機児童・保育士不足・保育の質の低下などが深刻化すると指摘されているが、内子町で想定される課題・問題点は。

保健福祉課長

無償化による入園児の増加については限定的と思う。なお、乳児の入園希望は増加傾向にあり、待機児童が増加する可能性は高いと思う。保育士確保は困難な状況になるのではないかと思う。

問 保育園での給食費の負担はどうなるのか。

保健福祉課長

保育料に含まれていた副食費は無償化の対象外で実費徴収となるが、低所得者世帯の副食費の免除は、年収360万円未満

へと対象者を拡充することになる。

問 3歳未満の保育ニーズの現状と見通しは。

保健福祉課長

0歳児は、2月1日現在17人が在籍しているが、年度途中で16人の待機児童が発生した。今年度の出生数は98人と前年度より10人程度増加の見込みで、保育ニーズの増加は今後続くと思われる。

問 国の制度のさらざるところは町独自の施策として、さらなる負担軽減に向け知恵を絞ってほしいが。

保健福祉課長

乳児保育のニーズに施設が追い付いていないのが現状であり、待機児童を解消するため、こばと保育園と五十崎幼稚園を統合し、認定こども園に移行し、乳児の受け入れ人数を拡充することを計画している。これにより、最大22人増やすことが可能となる。認定こども園への移行を中心事業として取り組んでいきたい。



こばと保育園と五十崎幼稚園

【小田の振興について】

問 小田地区の振興や人口減少問題を本気で考えるなら、町産材利用補助の上乗せなど、より具体的に結果の出る施策や事業に取り組むべきでは。

総務課長

これまでさまざまな施策を実施してきたが、人口減少に歯止めをかけるには至っていない。補助金の上乗せによって、小田での新築の動機付けには至らないと考える。小田の振興は、これまで同様、さまざまな施策や自治会活動を通じて、小田の魅力を高め、そこに住む人たちが地域に誇りを持つことと考える。

【児童生徒のSNS利用について】

問 小・中学校でのSNSの利用状況といじめやネット依存など問題点について現状は。

教育長

ネット等の利用によって、睡眠時間や学習時間が減ったと感じている中学生が4割程度いる。

小・中学生を問わず、「知らない人からメールや電話があった」「ネットで悪口を書かれた」「ラインで仲間外れにされた」などの報告が上がっている。

問 学校ではどのような指導をされているのか。

教育長

危険性についての講話や、警察署員による「情報モラル教室」などを開催している。今後も関係機関と連携を図りながら取り組んでいく。





向井 一富議員

【LINEの活用を！】

問 公共施設の不具合通報に、有効活用を。

建設デザイン課長

LINE等の有効性は感じているが、現在通報があった場合迅速に現場を確認しており、状況に応じ対策に努めていて不都合を感じてない。今後も迅速に的確に対応していく。

【犬猫殺処分について！】

問 「犬猫殺処分ゼロ運動」について。

保健福祉課長

内子町での犬、猫の今年度の保護件数は、犬は6頭、猫は31頭、合計で37頭。里親への譲渡は、愛媛県動物の愛護及び管理に関する条例で、譲渡事務は愛媛県が行うと規定をされて

いて、内子町での取り組みはない。内子町には去勢、避妊に対する助成制度はない。



松山市内の動物愛護センターでの譲渡会

【高齢化対策について】

問 独居高齢者の見守りについて。

保健福祉課長

平成30年4月現在、独居高齢者の人数は1257人。状況把握は、地域包括支援センターが業務を委託して調査をし、生活状況等の把握を行っている。緊急時の連絡先は、本人からの聞き取りによって把握している。その情報は、地域包括支援センターで保管しており、必要に応じ情報提供をしている。

問 内子町内での電動カートの利用状況は。

保健福祉課長

交通安全協会に登録されている保有台数は、81台。介護用品としての貸出は、18人の方が利用している。購入時の補助制度はないが、運転免許自主返納事業として購入代金の1割引などのサービスを提供している事業者はある。交通安全協会の法令講習及び老人クラブでの交通安全講話などで啓発周知をしている。



電動カート利用者

【風疹予防について】

問 風疹予防接種の無料化と実施予定は。

保健福祉課長

無料風疹ワクチン接種の対象者は、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性が対象で、内子町での対象者数は1610人。平成31年度から3年間、原則無料で予防接種を実施する。4月から順次無料クーポン券を送付する。

【新規就農者への補助金について】

問 新規就農者に対する補助金等の交付状況は。

産業振興課長

農業次世代人材投資事業があり、平成24年度から現在まで延べ14経営体19名の方に対して7312万5千円の交付を行った。

町の単独事業として、内子町新規就農者研修滞在施設利用補助、町認定の認定新規就農者に青年等就農資金などを利用でき、現在、内子町では13名の方が認定新規就農者となっている。



大西 啓介議員

【稲本町政10年について】

問 町長になられて10年、さまざまな社会問題に対してどう向き合い対処してきたか。

町長

「子どもたちに夢を」の分野では学校や育児施設の新築・改修・エアコン整備など。中学生までの医療費無償化。外国語教育の充実など。

「お年寄りに安心を」の分野では、町内全域でのデマンドバス運行。加戸病院の誘致や愛媛大学医学部寄付講座による医師の確保など。

「働く人に元気を」の分野では、内子産品の販路拡大。創業起業支援におけるゲストハウスや飲食店の開業。農産物等の販売拡大。光ファイバーの全町整備。入江工研論田工場の誘致。

「安全・安心のまちづくり」の分野として、デジタル防災無

線の整備と自治会館や消防詰所の耐震化など。

ほかに、内子座の重要文化財指定。ドイツ・ローテンブルク市との姉妹都市盟約締結、東京都豊島区との交流。「フレックシユパークからり」が全国6カ所の「モデル道の駅」に選定、農林水産祭むらづくり部門で「内閣総理大臣賞」。内子町として「文化庁長官表彰」「自治体国際交流表彰（総務大臣賞）」、広報うちこの「内閣総理大臣賞」など。

また、財政の健全化に取り組み、県内でも健全度の高いランクとなった。

問 選挙公約の進捗状況は。

町長

「地場産業の販路拡大」について、事業者自らが行う町産品の販路開拓に要する経費の一部を補助する制度を創設、延べ35事業者へ支援を行い成果を上げている。事業者の拡大とともに支援を継続したい。

「農家の担い手確保」について、総合計画の前期目標は30年度265人、法人30に対して、実績は227人、法人17。

「林業の六次産業化」につい

ては、内子版地域商社の設立として旧「株式会社小田森林ログハウジング」が「株式会社内子・森と町並みの設計社」に定款変更し、計画を進めている。町としては、町産材利用住宅への補助、未利用資源を活用した新商品の開発等、地域商社等と連携を図りながら取り組んでいる。

「商店街の無電柱化」について、課題がまだまだ多く、地下埋設物の調査中。引き続き電線管理者と協議を進めたい。

【海外への情報発信や経済交流について】

問 7月から松山・台湾直行便が就航するが、内子町として何か計画しているか。

町長

南予の市長・町長が集まった場でも話題になり、早急に手を打っていかなければならないと考えている。

松山～台北線
7月18日就航！



内子町移住定住支援サイト「うちこんかい」がリニューアル



【移住促進について】

問 東京圏から地方に移住し就職・起業する人を増やすための「地方創生起業支援事業」並びに「地方創生移住支援事業」は、起業支援金と移住支援金合計で最大300万円の補助となる。内子町として積極的に取り組む意思はあるか。

総務課長

この事業は県が主体となって制度設計を行うもの。今後の動向を見定めながら、県との連携がとれば、内子町としても積極的に対応していきたいと考えている。



寺岡 保議員

【保育所10連休？
どうするうちの子】

問 皇位継承に伴い4月27日から大型10連休となる今年、休日保育の対応や、それを保護者へどう説明するのか。

【保健福祉課長】

保育園が最大9連休となる。しかし、保護者の休日出勤も想定されるため、今年に限り、休日となる4月30日と5月2日を開園する方向で検討している。保護者への説明は、4月の入園式にあわせて対応する考えである。



【甕れ五十崎の文化と歴史】

問 龍王公園内にある五十崎歴史民俗資料館は、寄付などを受けた資料が保存されている。現在、閉鎖されているが、風物館で展示してほしいとの町民の声がある。資料館の中の現状や、今後の対応は。

【自治・学習課長】

五十崎歴史民俗資料館は、1788点の民俗資料が保存・収蔵されているが、平成20年1月から休館している。

しかし、小・中学校の授業や町民等からの見学依頼の折には、職員が出向いて説明を行っている。また町内での企画展等に必要な資料があれば貸し出しを行い、多くの方に見ていただいている。

今後の利活用は、議員提案も含めて前向きに取り組んでいく。



五十崎風博物館

問 風博物館には、使われていない部屋がある。有効活用も含めて、歴史民俗資料館にある五十崎の歴史的・文化的に貴重な資料を置くべきと考えるが。

【町並・地域振興課長補佐】

風博物館は、風の歴史、五十崎の歴史や文化、伝統にも密接にかかわっている建物である。議員提案を、風博物館運営委員会や有識者の意見を聞きながら、展示をしていく方向で協議する。

問 いつまでに、どのような形で行うのか。

【教育長】

五十崎歴史民俗資料館は、教育委員会、自治・学習課が所管しており、十分な管理ができていないところもあるが、展示室、収蔵庫などに展示・保存している。

風博物館は、町並・地域振興課が所管しており、議員提案の風博物館への展示について、展示企画やレイアウトなど運営委員会等に諮りながら、平成31年度に入り次第早めに対応する。

【町長】

風博物館の管理運営は、運営委員会が協議して展示方法や展

示場所、期間などを決定しているので、4月に入ったら運営委員会を開き、早急に町民の皆さんに見ていただけるよう検討する。



五十崎歴史民俗資料館

- 指定管理者制度を問う！ -



関根 律之議員

〔指定管理者制度について〕

問 指定管理者により管理・運営されている施設の中期的な見直し(モニタリング)、期間終了時の評価はどのように行われているか。

副町長 指定期間内でのモニタリングは実施していない。指定管理期間満了前に、選考委員会で指定管理者の経営状況や施設利用者のアンケートなどを基に評価を実施し、次の指定管理者として適当かを判断している。

問 龍王公園内の総合交流施設「オーベルジュ内子」の設置目的は。

副町長

温泉を利用した「健康維持・健康増進」の場を町民に提供するとともに観光客が利用できる

「ふれあい・交流」の場として福祉の増進と地域の活性化を目的としている。

問 宿泊施設も町の施設であり町民の利用実態の把握は。

建設デザイン課長

宿泊者については住所・氏名が記入しており、データを拾えば町民の利用状況が取れるシステムは作っている。

問 指定管理期間が残り1年となった今、改めて町民の声を聞くためのアンケートなどを通じたモニタリングを実施すべきでは。



龍王公園内にあるオーベルジュ内子

建設デザイン課長

利用者に対してのアンケートは取っており、意見を集約して経営に反映していきたいと考えている。

問 建設費概算で4億円を超えるといわれる新深山荘計画に関して、住民サービス向上のための具体的な内容は。

小田支所長

宿泊施設は7室、地元の人に利用していただく温浴施設、森林学習もできるレストラン併用ホール、来訪者と地域住民がふれ合う癒しの時間が過ごせる建物にしたいと考えている。

〔エネルギー自給について〕

問 内子町全体の3分の1にあたる約2500世帯分の電力を供給するとされる内子バイオマス発電の本格稼働にあたり、「再生可能エネルギー推進の町」を内外に積極的にアピールしては。

環境政策室長

地域の未利用間伐材を有効活用し、発電事業を基軸とした地域経済圏の確立に繋がるもの

で、大いに期待している。「バイオマスタウン内子」を積極的に町内外に発信して、さらなる地域の活性化を図りたい。

問 森林資源の有効利用のため電力消費量が多い地域で発電設備を設置する検討はできないか。

環境政策室長

木質バイオマス発電設備の更なる設置については、安定した原木の供給体制とバランスを保つ上で、適正規模を見定めていくことが必要と考えている。

〔自衛隊員募集の協力要請について〕

問 新規隊員募集のために、町に対して住民の個人情報を提供するよう求める要請に対してどのように応えたか。

住民課長

平成24年から毎年5月に自衛隊愛媛地方協力本部長より、18歳になる方の住所・氏名・生年月日・性別が掲載された住民基本台帳の閲覧の請求があり、町としては法令の定めがある閲覧に限り許可をしている。



内子町教育委員会
山岡 晋 教育長

教育長就任あいさつ

この度、内子町議会議員の皆さまのご同意をいただき、内子町教育委員会教育長職を拝命いたしました。私にとりまして、身に余る光栄でありますとともに、その職責に身の引き締まる思いです。

井上前教育長の後をしつかりと受け継ぎ、学校教育現場での経験と社会教育行政並びに国際交流協会の運営に関わらせていただいた経験を生かし、内子町の素晴らしい教育環境に根ざした時代の変化に対応する教育が展開できるよう全力を尽くす所存です。

町民の皆さま、議員の皆さまのご支援を心よりお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いたします。



平成31年3月31日付 退任及び退職
長い間、町行政にご尽力、お疲れ様でした。

左から

安川 徹(税務課長) 井上 淳一(教育長) 亀沖 明義(自治・学習課長)

主な議会の活動状況

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1月13日 内子町成人式 | 3月5～18日 内子町議会3月定例会 |
| 17日 愛媛県町村議会議長会第4回全員協議会 | 5日 議会広報常任委員会 |
| 18日 総務文教常任委員会、全員協議会
議会運営委員会 | 7日 総務文教常任委員会、産業建設厚生常任委員会 |
| | 8,11,12日 予算決算常任委員会 |
| 2月4日 広島県府中市議会行政視察受入 | 19日 大洲喜多特別養護老人ホーム事務組合議会定例会
大洲・喜多衛生事務組合議会定例会
大洲地区広域消防事務組合議会定例会 |
| 9日 内子町自治会活動研究大会 | 27日 八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合議会定例会
愛媛県市町振興協会第4回臨時評議員会 |
| 15日 全員協議会 | |
| 16日 内子町社会福祉大会 | |
| 17日 内子町消防出初式 | |
| 18日 愛媛県町村議会議長会第70回定期総会 | 4月15日 全員協議会、議会運営委員会 |
| 22日 内子町森林組合第44回通常総代会 | 25日 内子町議会臨時会 |
| 26日 議会運営委員会 | |

有権者になった今

内子高等学校3年 緒方 唯那さん

私は誕生日を迎え18歳になり、有権者となりました。小さい頃から親が選挙に行くとき私もついて行っていたので、どのような会場や雰囲気か理解しています。しかし、いざ自分が投票に行く立場となるとなんだか緊張してしまいます。今までは選挙と聞いても「自分には関係ない」と思い何も考えていませんでした。でも今の私において選挙は「自分に関係ある」ことなので、しっかりと考えていきたいと思っています。

私が初めて選挙に行くことになるのは、今年7月に行われる参議院議員選挙だと思っています。自分の一票でこれからの生活が変わっていくかもしれないかもしれません。たった一票でも、その一票が大きく結果を変えることになる可能性も大いにあります。

若い私たちの意見も伝えるためには、投票に行かなくては始まりません。正直に話す政治のことは全然わかりません。しかし、政治に興味を持たないというのは間違っていると思います。今は便利な世の中となり、自分のスマートフォンやパーソナルコンピュータで簡単に調べることが可能です。何が原因となり問題が起こっているのか。完璧な知識を身に付けるのは難しいですが、最低でも高校生が知っておかないと恥ずかしいレベルの知識は身に付けたいです。

これからをつくっていくのは私たちです。普段から政治に興味を持ち、よりよい明日をつくっていききたいです。

傍聴席から

ひと言！



町議会の傍聴を終えて

内子町五百木
中野 歌子 さん

内子町女性団体連絡協議会の一員として、久しぶりに議会の傍聴をさせていただきました。

厳粛な雰囲気の中、初めに町長さんの10項目に及ぶ、平成31年度施政方針の説明がありました。続いて議長さんのスムーズな進行のもと、議員さん方の一般質問に入りました。それに対して担当者が次々と挙手し、丁寧な答弁がなされました。質問内容としては、内子町内の懸念事項から、現在、世間で問題になっていることまで幅広いものでした。中でも、小・中学校へのエアコン設置の予定と中学校まで医療費の無償化が実施されているという説明に感銘を受け

ました。少子化が進む今日、内子町で子育てをしたいと望む若い方々が増えることを期待します。また、全国的に知られるようになった、道の駅「からり」の4月末のリニューアルオープンも楽しみです。

議員さん方と町理事者の方が、町民のよりよい生活のために努力しておられる様子に、町政がより身近に感じられた一日となりました。傍聴できなかった方々の内容につきましては、次回の「議会だより」で拝見したいと思えます。ありがとうございます。

皆さん傍聴においでや！

次の定例会は

6月6日(木)
開会の予定です

表紙の写真募集中!!

あなたの写真が紙面を飾る!!

◆募集内容◆

テーマ：内子町内の自然・風景・人物（掲載許可は撮影者が得てください）

◆応募方法◆

JPEG形式で、下記メールアドレスへ。
Mail: gikaijimukyoku@town.uchiko.ehime.jp

万華鏡



「宇都宮神社・春神楽」

撮影：森永 和夫

モニターの声

- ◇さまざまな課題がある中で、少子化というのが、大きな課題だと思えます。若者がこの町に残って子育てをしたくなるような活動を地道に続けてほしいです。（30代女性）
- ◇成人式の表紙の写真が晴れやかでよかったです。
- ・ 毎号ですが、内容も読み応えがありました。
- ・ いろんな問題について話し合われている様子がよくわかります。
- ・ 高校生の意見には本当にハッとさせられます。（40代女性）

～ご利用ください！ QRコード～

内子町ホームページ
議会事務局へつながります



編集後記

議会広報紙の発行もおかげさまで6年目を迎えました。町民の皆さまに議会活動の様子を理解していただくツールとして定着してきたように思います。これまでの編集委員の皆さんの努力と、議会事務局員の支えに感謝する次第です。

今後、より一層分かりやすい紙面を目指して研究を重ねるとともに、議員の質問のあり方や表現力の向上も課題として取り組んでいく所存です。今後ともご愛顧のほど宜しくお願いいたします。（山本 徹）

●議会広報常任委員会

委員長	才野 俊夫
副委員長	大木 雄
委員	大西 啓介
委員	久保 美博
委員	森永 和夫
委員	林 博

表紙の写真（撮影・大木 雄）

春爛漫の石畳（東の）しだれ桜

発行／内子町議会 発行責任者／内子町議会議長 山本 徹
編集／議会広報常任委員会 ☎0893(44)2115